

# あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、  
「住民こそ主人公」の  
あきる野市政実現をめざして！

2007.1.28 No.455 (毎月2回発行)

温泉建設の事務監査請求

## 署名数は1月22日現在すでに1,300を突破！

目標数3,000へ全力を…

1月9日、市役所前での出発式に  
延べ50人が集まる。→

さっそく始まった、東急前での署名  
に市民が怒りのペンで署名、続々。↓



### 『新春の幕い』

どの (2面 で詳報)  
温泉問題を考える会の  
竹之内代表世話人の  
あいさつから

「署名活動をしなくても無駄じゃないか」「もう温泉はできるのだから」とよくいわれます。確かに温泉施設は4月からオープンです。私たちは市長が提案し、議員が賛成した温泉建設をやめさせることができなかったけれど、このまま黙って温泉建設を認めるわけにはいけません。借入金と赤字が結局市民の負担になるわけです。あきる野市の借金が1千27億円あることが明らかになりました。さらに20億円を借入し、赤字必至の温泉施設を建設する。全国どこを探しても行政が観光施設を建設する、そこで成功したところはないですよ。そういう疑問に市長も議員も答えていないので、ぜひ市民の力で答えさせたい。この事務監査請求という運動は市民の疑問を直接問いたしていく取り組みです。署名をする市民一人ひとりが「なんで温泉なんだ」「税金をもっと市民のために使え」という思いが込められた運動だと思っています。みなさんと一緒に事務監査請求を成功させて市民から市政を変えていく、そういう思いです。

誰かが言っていました。「1月9日は、1日中温泉問題を考える会が市役所で大活躍しました」と。朝早くからロビーでは50人もの参加者が署名簿の繰り込みやピラ折リなどで大忙し、打ち合わせの後、市役所玄関前での出発式と写真撮影。東急前での署名活動を終えると、2時から市役所4階オープンスペースで共同記者会見を、新聞5社にTVが1社、緊張しながらも、参加された皆さんは洗剤として、署名活動28日間への出発の日を過ごしました。

あれから、二週間が過ぎようとしていますが、折り返し点です。一般新聞や地元紙が報道し、TVでは、2社がニュースワイド番組で報道。この反響は強烈で、署名活動はどこへいっても大歓迎をうけ、「テレビ見たよ、いつ来てくれるのか」待っていた「東急前で署名をやる」と報道されていたので出かけようかと思っていた。よ

同時に署名を呼びかける人が歩く大変有効」と強調され、後半の宣伝カーの活用は署名活動と合わせてやることなどが話し合われました。TVがもう1社、最終盤で放映される予定です。「税金のムダ使いをやめさせよう」という全国的なうねりの中で、あきる野市民の良識を示す時は、いまだです。残りの一週間に全力で取り組みましょう。

くきてくれました」と、署名をお願いに行った方が励まされるような状況で署名活動は急速にすすまれています。先週の中間集約で860筆を数え、今週はじめには事務監査に必要な最低限の1300筆は突破。着々と目標の3000筆に迫っています。20日に開かれた中間交流会では、「もっと街頭に出よう、特に宣伝カーで地域をまわり



わがパートナーは子育てに参加している方だと思いますが、「もっと休みを取りやすく働く時間が短ければ」より子育てに参加できると言います。男性が、と言うより働く人が子育てに参加するために必要なことって、実はそれだけだと思います。

必要な休みが十分に取れ、労働時間も短縮、それでも暮していける収入と安定した雇用。小さい会社では難しいでしょう。だから、国に責任をもってやってほしいです。目先の投資は必要ですが、子育て中の人に限らず色々なよい影響があります。そしてそれはやがて日本を今よりずっとすてきな国にすることにつながる、私は思っています。

### 野良望

マルクスは貧窮のなかで苦闘し、研究を深め、他の経済学者がつきとめることが出来なかつた資本家の利潤の根源が「労働者の搾取」にあることを発見した。同時にマルクスは、人間は衣食住抜きには存在せず、その生産手段を誰が握っていたか歴史的に解明し、人類の歴史は階級闘争の歴史であり、資本主義社会も、必然的に社会主義社会に労働者の闘いによって発展する、史的唯物論を発見し、「資本論」を書き上げた。▼今から百二十年前、日本の年代では江戸時代「遠山の金さん」の時代である。資本は飽くなき利潤追求の鬼と化し「労働者の搾取の強化」に狂奔するとマルクスは喝破した。日本における財界、大企業は、三年連続の史上最高の利益を上げながら、偽装請負、残業代取り上げなどを強化している。ワーキングプアが激増していることに何の痛痒も感じない。▼マルクスの指摘は現代に生きています。どっこい日本共産党も生きています。二大選挙がある年に、マルクスの偉大さを噛みしめています。

たばた あずみ  
連絡先は ☎550-6674

(松)



2007年

# 新春に想う

お正月にWii(ワイイ)で、ボーリングをやった。これがとっても面白く、二歳の孫もテレビの画面に向かって、われわれの真似事をしていて、カルタや百人一首、そして花札をやった時代はもう昔のことか。花札を販売している任天堂は、脳トレゲームで中高年の世代にまでDSを



ちぎり絵手紙/鈴木和子さん・入野在住

はやらせ、お正月の遊びにWiiを持ち込んだ。  
先日の「新春のつどい」で戸沢議員が「私のブログを見ている人は？」と尋ねたら、四名ほどの手が挙がった。参加者数での閲覧比率は3.5%。もちろんインターネットの利用者数はもっと多いとは思いますが、日本でのインターネット利用者は約7700万人(人口普及率61%)だそう。ブログでの日記風の意見公開もさかんで、携帯電話のメル友には情報が瞬時に伝達できる。新聞もインターネットでの閲覧になってしまいかもしれない。私たちの

## 前田眞敬(あきる野9条の会事務局長)

# 元気いっぱい 日本共産党 2007年『新春のつどい』

署名を呼び掛ける新日本婦人の会有志による「寸劇」は拍手喝采だった。



聴衆も一緒になって唄った、「ハイサイズ」の演奏。

## 選挙の年 勝利して政治を変えよう

日本共産党あきる野市委員会と後援会は1月14日「2007年新春のつどい」をまほろばホールで開きました。今年には都知事選・参院選・市長選と続く選挙の年と強調する松平重幸市委員長や西川昇後援会長、戸沢ひろゆき市議団長の新年あいさつで始まったつどいは、百人の参加者が会場を埋めました。壇上には、原水協や健康友の会などの市内の民主団体代表も並び、代表して温泉問題を考える会・竹之内正雄代表世話人と新日本婦人の会・高橋敦子支部長があいさつ。竹之内氏は、事務監査請求の取り組みの大きな反響と意義を力説しました(二面で紹介)。  
第一部では植木こうじ都議が都知事選勝利をめざしてと記念講演。  
田村智子参院東京選挙区予定候補のメッセージが紹介され、都知事候補に名乗りをあげている吉田万三氏の演説ビデオも上映され、政治を変えよう都政を変えようとの熱気に包まれた集会となりました。  
第二部は、西多摩で活動するサークル「ハイサイズ」の三線演奏。中学生の少年を中心に家族のようなグループが沖縄民謡などを熱唱、聴衆も力チャージのように腕を振り手拍子を打って一緒に歌ったりしました。  
野辺から参加した女性は、「政治は変えられると思いました。舞台と聴衆が一体となった沖縄民謡には元気をもらいました。もっと若い人をたくさん誘うとよいですね」と語っていました。

## 歴史探訪

第35回

## 多摩川の渡し②



豊坂(江戸期は樋坂)

道路で、私が草花に住むようになった三十八年前は、この細い道を路線バスが走っていました。  
五日市・平井の商人達が、主に穀物の売買で扇町屋村(入間市)の市場への行き来が多く、江戸期では「町屋街道」、明治大正期では「五日市扇町屋道」と呼ばれていました。  
私の家の近くに豊坂という二五〇米程の坂道があります。明治中期までは「樋坂」と呼ばれ、人馬が転げ落ちる程の急坂であったといわれています。  
明治中期にこの不便の解消の為に、現在の豊坂であるならかな坂道となつて、一段と交通量が増したと云われます。五日市方面から来た商人達は、この樋坂を下つて多摩川に接し、「福生の渡し」で渡船、奥多摩街道を横断し、神明社・福生病院前を経て箱根ヶ崎から扇町屋村へ向かいました。(続く)  
草花 木崎秀治

## 俳句

病院の屋上庭園冬もみぢ

(静子)

革命のラテンアメリカ年暮るる

(忠信)

師走空風船に結ぶ種子袋

(勝代)

落葉掃く日の道通る乳母車

(やすこ)

ひとり居の師走ふた後三後も

(かほる)

背栗りの焚火に沈日見てとりぬ

(香治)

